

## 富士山山スキー報告（亀さんチーム）

(山 域) 富士

(コース) 富士宮コース

(日 時) 平成 29 年 5 月 20 日 (木)

(天 候) 晴天

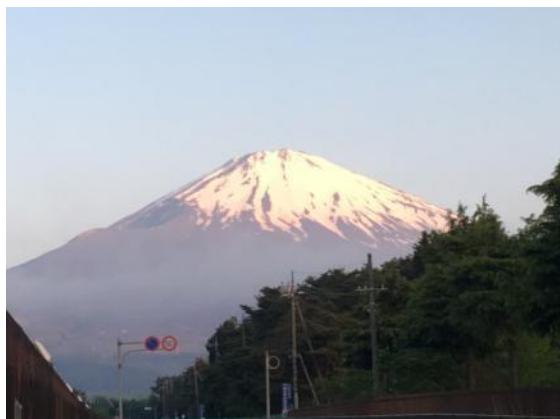
(参加者) CL 菊池、SL 渡辺 (俊)、古関、長池、住田、薄井、滝本 (記録)、会員外 I

(山行タイム) 登山口 (2,400m) 6 : 00、新 6 合 6 : 30、6 合 6 : 50、アイゼン装着 (6 合 5 勺 2,800 m 付近) 7 : 35、7 合 (雪渓乗換え 3,050m 付近) 8 : 50、8 合 10 : 20、9 合 11 : 10、9 合 5 勺 12 : 00、山頂 12 : 55-13 : 15、9 合 14 : 00、7 合 (雪渓乗換え 3,050m 付近) 14 : 05、滑走完了 (6 合 5 勺 2,800m 付近) 14 : 25、新 6 合 15 : 15、登山口 15 : 30  
登り 7 時間、下り 2 時間 20 分

(山行報告)

御殿場 IC を降りる頃にはまだ雲が多くて富士山が見えなかったのですが、近づくにつれて雲が切れ始め、モルゲンロートの赤く染まった美しい富士山が見え、一挙にテンションが上がりました。

駐車場に車を止め、支度をし、登山口のフェンスを乗り越えて入って行きました。



モルゲンロード



登山口

雪のない道を登ってきますが、見た目にはよく分かりませんが、土が水分で凍っていて滑りやすいので要注意です。小さな雪渓にかかり、その上は雪渓が切れているのでそのまま登りましたが、慎重に登って時間がかかったため、こんな場合はさっさとアイゼンに変えた方が安心して早く登れたのではないかと思います。

シール歩行のグループもいましたが、この富士宮ルートは急な斜面もあることから、我々は最後までアイゼンで登ることにしていました。

ここでトップを交代しながら菊池先生による講習も行いました。足の開き、歩幅、スピードの 3 点がメインでした。

この後、渡辺リーダー、住田、薄井、会員外の計 4 名によるうさぎさんチーム (健脚組) と菊池リーダー、古関、長池、滝本の亀さんチーム (マイペース組) に分かれて登ることにしました。ところが長池さんが体調不良となり、リタイアとなりました。まだ軽い症状だったので、菊池さんと連絡を取りながらゆっくり一人で降りることになりました。



6 合目付近



7 合目手前

うさぎさんチームは暫くするとペースをさらに上げたようで見えなくなってしまいました。亀さんチームでは菊池先生による講習が始まり、今回はストックの使い方（短く持って足元に突く）でした。

広い斜面の中から比較的緩くて自分の歩幅に合ったトレースを探しながら登りますが、なかなか合ったものが無く、自分で新しいステップを付けながらジグを切ってゆっくりマイペースで登っていくこととなります。10人ぐらいで隊列を組んで直登しているグループがいましたが、かなり苦しんでいるようでした。時々強い風が吹くことが有るのでよろけないよう注意しながら歩きます。古関さんは最初は元気でしたが、経験が浅いこともあってかなり疲れてきていて遅れ気味でした。しかし、菊池さんのサポートで何とか付いてきています。

天気が良くて気温が高いことから、今日は13時山頂着がタイムリミットであったが、かなり差し迫ってきたことから菊池さんと古関さんは9合5勺に板をデポし、滝本はもう少し上でデポして、最後のひと踏ん張りで登り切り、登頂に成功しました。



もう少しで山頂が見えそうです



9号5勺に板をデポして最後の登り

山頂付近の雪は表面だけは良いが、少し下にはカチカチに凍った雪で、滑るにはかなり熟練度が必要の様でした。

山頂付近は岩の露出もあって滑走は無理なので少し降りてからアイゼンを外し、板を装着します。平坦なところが無く、もし流してしまったらどこまで流れていくのか……。慎重に板を付けて9合5勺の小屋に集合します。



最高の天気と笑顔（剣が峰から火口に滑って行くシュプールも見えます）

さあ、ここからが本番です。みなさん、思い思いのシュプールを描きながら滑って行きます。



あまり広すぎるせいか、斜度がきついのが気にならず、つついスピードが出てしまいがちです。もっとスピードをコントロールできるようには。

小石があちこちに落ちていて、大きなものは避けるが小さなものまでは避けきれないで、時々いやな感触がした。

7合目付近で雪渓を乗換え、最後の滑走を楽しみました。6合5勺の2,800m付近で雪渓が切れてい

て、滑走が終了しました。その後は板をザックに付け下って行きますが、登山口に近づくと観光客が入ってきて写真を撮っていました。外国人の人も多いようです。



テレマーク



@駐車場

矢印の下の雪渓を滑りました



ルート



翌日の飛行機からの写真とルート